

市民参加の裾野拡大の 進捗状況について

令和5年6月29日

1 これまでの経過

<令和3年度>

市民参加の裾野拡大の取組として、高校生を対象とした授業の連携について検討

<令和4年度>

科目による連携方法を検討

①科目「公共」との連携

授業テーマを京都市が提示し、テーマの所管課が授業に出講する。

「市政参加」の推進に重点を置いており、R5年度の西京高等学校とのトライアルを経て、R6年度に全市立高校への拡大を目指していく。

⇒パッケージ型

②「総合的な探究の時間」との連携

生徒自身がグループごとにテーマを決め、その内容に応じて、京都市が連携可能な部署や団体（お宝バンク提案団体）、企業等につないでいく。「まちづくり活動」の推進に重点を置いており、R5年度は京都奏和高等学校と連携する。

⇒オーダーメイド型

2 令和5年度の進め方

①科目「公共」との連携

【連携校】

京都市立西京高等学校（2クラス）

【現状】

以下の3テーマのいずれか1つを念頭に学校側と協議中

- ・観光課題（産業観光局）...

公共交通機関の混雑、写真撮影等のマナー違反といった課題の解決や受け入れ側の市民にできることは

- ・地下鉄・バスの市民への情報発信（交通局）...

交通局の経営状況等、市民に誤解されがちな情報を正しく発信するためには

- ・自転車政策（建設局）...

ヘルメットの着用や自転車走行マナー向上等、安全な自転車の利用を推進するためには

【スケジュール】

9月11日又は25日6・7限（14:20～16:10）

テーマ所管課が出講し、テーマを提示

秋休み（10/5～10）生徒による周囲の人へのインタビュー（秋休みの課題）

10月24日 市立高校合同研究授業会（2クラス中1クラスで実施）

全市立高校社会科教員の見学

10月下旬 最終発表会

テーマ所管課によるフィードバック

※市民参加推進フォーラム委員の見学を予定（別途ご案内）

令和6年度～ 授業のパッケージ化、全市立高校で実施を検討

② 「総合的な探究の時間」との連携

【連携校】

京都市立京都奏和高等学校（4クラス）

※奏和高校においては「総合的な探求の時間」をビジテックとして実施している。

（京都奏和高校 学校案内パンフレットより）

ビジネス（商業）とテクノロジー（工業）を掛け合わせた京都奏和高校独自の授業です。ものづくりやマーケティングを学び、2年次以降は地域や社会と連携した取り組みを行っています。

【現状】

- ・ 京都奏和高校において、生徒各自が進めたいアクションのイメージを描くためのワーク等を複数回実施（市民協働推進担当は「市民参加」について考えるワークショップ(R5.2月実施)に参画)
- ・ 京都信用金庫とも連携し進めていく方針
- ・ 6月23日 アクションプラン審査会（生徒の取組の中間発表。本市職員及び京都信用金庫職員も参加）

【スケジュール】

7月～ アクションのブラッシュアップ

各チームのテーマに合わせて協力者を紹介（本市及び京都信用金庫）

12月21日 学校外の会場で最終成果報告会

令和6年度～ 連携する高校の希望に合わせて、オーダーメイド型で実施

※最終成果報告会について

- ・ 学校外の会場で実施予定
- ・ 保護者だけでなく一般市民の観覧も可能とし、各チームの発表へのフィードバックにも参加できる仕組みを作ることで、生徒と地域の人との交流の機会を創出する予定。
- ・ 各チームの活動次第では、ワークショップ形式等で成果発表をされる可能性もある。